

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-002
 担当 富田
 内線等 237

PDCA	事務事業名	アダプトプログラム推進事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当				
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち 節： 第1節 協働のまちづくりの推進 基本施策： 2. コミュニティ活動支援 単位施策： (1) コミュニティの活性化 個別施策： ③活動環境の整備						
	根拠法令等	半田市公共施設アダプトプログラム実施要綱						
	対象・目的	公園、道路、河川等の公共空間の美化及び保全等を目的として、市民がボランティアで管理するアダプトプログラムを実施する。地域への愛着、美化意識やボランティア意識を高め、協働により施設等の環境美化活動を推進する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	市民、企業等に本事業の周知を行い、市と養子縁組を結んだ登録者（はんだクリーンボランティア）を増やす。 はんだクリーンボランティアの活動を支援するため、清掃美化活動に必要な物品及び備品の管理を適切に行い、これらを必要に応じ提供、貸与する。						
	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
	①物品の提供（ゴミ袋）		694	629	467	セット		
	②物品の提供回数		128	123	143	回		
	③							
	事業費		519	538	529	千円		
	人件費		2728	2,881	2,866	千円		
	総事業費		3247	3,419	3,395	千円		
	活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位		
	①物品の1提供当たりにかかるコスト		25	28	24	千円		
	②							
	③							
D 前年度の活動結果と見られた成果	成果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①はんだクリーンボランティア登録者数	実績値		9,170	7,077	人	
			目標値		9,300	9,300		
		②	実績値					
			目標値					
		③	実績値					
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	事業の評価・課題	C 中学生を中心とした登録団体が熱中症防止を理由に脱退したため大きく登録者数が減少したが、既存登録者への必要資材のアンケート実施や現状提供できる資材の周知、活動時に使用するベストの提供等により、既存の登録者への活動支援を充実させることができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 はんだクリーンボランティアの活動場所及び活動内容を、はんだマップ等を活用し発信していくことで、登録者のモチベーション向上につなげるとともに、制度のより一層の周知に努めることで、新たな登録者数の増加につなげていく。						
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位		
		①はんだクリーンボランティア新規登録者数			150	人		